

<b>事業所名</b>	<b>グループホーム海の見える家</b> (クリックすると事業者の情報にリンクします)
<b>日付</b>	平成19年 2月22日
<b>評価機関名</b>	<b>関東リーガルマインド</b> (クリックすると評価機関の情報にリンクします)
<b>評価調査員</b>	A:現職 高等学校非常勤講師 資格・経験 看護師、社会福祉士、福祉住環境コーディネーター B:現職 生活指導員 資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、ホームヘルパー2級 介護支援専門員
<b>自主評価結果を見る</b>	(事業者の自主評価結果にリンクします)
<b>評価項目の内容を見る</b>	(評価項目にリンクします)
<b>事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)</b>	(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### 外部評価の結果

<b>講評</b>
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・設立者は、要介護度が高くなり受け入れ先の少ない高齢者のお世話をしたいとの思いから、このグループホームを設立した。低い料金で最高のサービスを提供し、入居者や家族の立場に立って介護をしていこうとする思いが強い。</li> <li>・2方向を広いガラス張りにした食堂・居間からは眼下には海が望め、一方には国立公園へと続く緑の景色が眺望できる。朝日が昇る光景は絶景であるとのことで、心癒される環境である。近くにはスポーツ施設もあり、休日ともなると、人々の元気な声・動きも感じることができる。</li> <li>・職員は常に入居者に寄り添い、和やかに喜びを引き出すような対応をしている。入居者の表情も穏やかで、一人ひとりが自分の好きなこと、したいことをして過ごしているが、常にお互いが関心を寄せ合い、落ち着いて仲良く暮らしていることがうかがえる。</li> <li>・地理的な面で、面会の機会がやや少ない家族が多いように感じたが、毎月入居者の生活ぶりを写真や手紙で紹介し、可能な限り入居者本人からの手紙も添えている。かかりつけ医への受診は、家族が希望すれば職員が送迎するなどの配慮がある。看護職者も配置されており、家族にとっても安心が得られる環境であると感じた。</li> </ul>
特に改善の余地があると思われる点(記述)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、運営推進会議を準備中である。設立者は、元市議会議員で数期を務めた実績からも、地域住民のグループホームに対する期待度は大きいと考える。さらに、地域に密着したサービスを提供するためにも、運営推進会議の早期の実現を期待する。</li> </ul>

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
<b>記述項目</b>	<b>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の親が入居したらどうして欲しいか、どうすれば家族として嬉しいか、入居者本人にとって嬉しいかを常に考えて、入居者が安心して暮らせる生活を支えている。</li> <li>・職員は、入居者一人ひとりの意思を尊重し、入居者の声に耳を傾け、9人9通りのサービスを提供するという気持ちで接している。</li> <li>・現状に納得して情性にならないよう、積極的に研修を受け、様々な考えを学んだり、新しい情報を取り入れながら、自己研鑽している。</li> </ul>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
<b>記述項目</b>	<b>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者一人ひとりがどうすれば落ち着けるかを考え、場づくりをしている。荷物整理を繰り返す入居者には、ダンボール箱を準備し、活動しやすいように配慮している。午後になると、落ち着きがなくなる入居者に対しては、花の水遣りなど好きなことで気を紛らわせたり、「ちょっと一緒に行ってみようか」と、外に連れ出したりしている。</li> <li>・お手玉、本、トランプ、カラオケブックなどが、手に取りやすい位置に置いてあり、好きなことをして過ごせるような配慮がある。</li> </ul>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
<b>記述項目</b>	<b>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活歴などから、入居者一人ひとりのできそうなことを見つけ、生活の中で活かされるように支援している。</li> <li>・入居者一人ひとりの「仕事をしたい」気持ちを大切に、励ましたりねぎらったりしながら、喜びを引き出せるように支援している。</li> <li>・仕事のことや入居者のプライベートなことは、仕事を離れたら口にしないようにしている。グループホーム内でも、入居者のプライベートなことは、他者に話さないように気をつけている。</li> </ul>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
<b>記述項目</b>	<b>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は、サービスの質の向上を目指して、自己研鑽している。外部の研修にもできるだけ参加できるように、可能な範囲で勤務の調整をしている。休日を利用して参加する場合もある。</li> <li>・夜間緊急時の対応方法、応急手当法、心停止時の対応法、誤嚥時の必要物品などが、わかりやすい位置に整理されている。</li> <li>・年1回、入居者も参加して、消防訓練が開催されている。</li> <li>・ヒヤリハットや、事故が発生したときには、カンファレンスを開催し、事故の発生防止・再発防止に向けて取り組んでいる。</li> </ul>		